



2020年11月13日

各 位

会 社 名 ワタベウェディング株式会社
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 花房 伸晃
(コード番号 : 4696 東証第一部)
問 合 せ 先 グループ管理本部長 鈴木真治
(TEL : 075-778-4111)

特別利益、特別損失の計上並びに連結業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第3四半期累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)において、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上いたしました。また、2020年4月30日に未定として公表いたしました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

2020年12月期第3四半期決算において、新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等の支給申請の実施等により、助成金収入735百万円を特別利益に計上いたしました。

また、第2四半期決算においても特別利益に943百万円の助成金収入計上しており、本件を含めて2020年12月期第3四半期連結累計期間において、計1,679百万円の助成金収入を計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

(1) 臨時休業等による損失

2020年12月期第3四半期決算において、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた店舗の臨時休業期間中に発生した費用239百万円を臨時休業等による損失として特別損失に計上いたしました。

主な内訳は、人件費、店舗賃借料、減価償却費等であります。

また、第2四半期決算においても特別損失に1,237百万円の臨時休業等による損失を計上しており、本件を含めて2020年12月期第3四半期連結累計期間において、計1,476百万円の臨時休業等による損失を計上いたしました。

(2) 施設店舗整理損

2020年12月期第3四半期決算において、国内直営11店舗等を閉店する決定をしたことに伴い発生する費用140百万円を施設店舗整理損として特別損失に計上いたしました。

また、第2四半期決算においても特別損失に251百万円の施設店舗整理損を計上しており、本件を含めて2020年12月期第3四半期連結累計期間において、計391百万円の施設店舗整理損を計上いたしました。

なお、施設店舗整理損は特別損失の総額の100分の20以下であるため、2020年12月期第3四半期連結累計期間においても、第2四半期連結累計期間と同様に特別損失のその他に含めて表示しております。

3. 連結業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回予想値 (B)	18,500	△12,000	△12,000	△13,000	△1,311.97
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	39,049	1,159	1,358	705	71.21

(2) 修正の理由

2020年12月期の連結業績予想について、2020年4月30日公表時点では、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であったため「未定」としておりましたが、今般現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

「リゾート挙式」においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外ウェディング催行不能な状況は年内継続すると想定しており、当期において大幅な減収減益を見込んでおります。また、「ホテル・国内挙式」においては、一組当たりの列席人数が減少しているものの、国内披露宴の催行が緩やかに回復基調へ向かうなど徐々に売上げを回復しつつありますが、第3四半期までの損失が大きく影響しております。

このような状況下、2020年12月期通期の連結業績につきましては、売上高18,500百万円、営業損失12,000百万円、経常損失12,000百万円、親会社株主に帰属する当期純損失13,000百万円を見込んでおります。

なお、当社は2019年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、当連結会計年度(2020年1月1日から2020年12月31日まで)と、比較対象となる前連結会計年度(2019年4月1日から2019年12月31日まで)の期間が異なるため、対前期増減率については記載しておりません。

4. 剰余金の配当(無配)について

(1) 配当の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	未定	未定
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2019年12月期)	0.00	8.00	8.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益配分を経営の重要課題と認識し、安定的配当の継続を基本としつつ、連結業績、財務体質の強化、事業戦略等を勘案し、分配可能額の範囲内で配当を実施することを基本方針としております。しかしながら、前述の当期連結業績予想を踏まえ、誠に遺憾ではございますが期末配当を見送らせていただきます。

株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、早期に復配できるよう、財務体質の健全化を図ってまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以 上